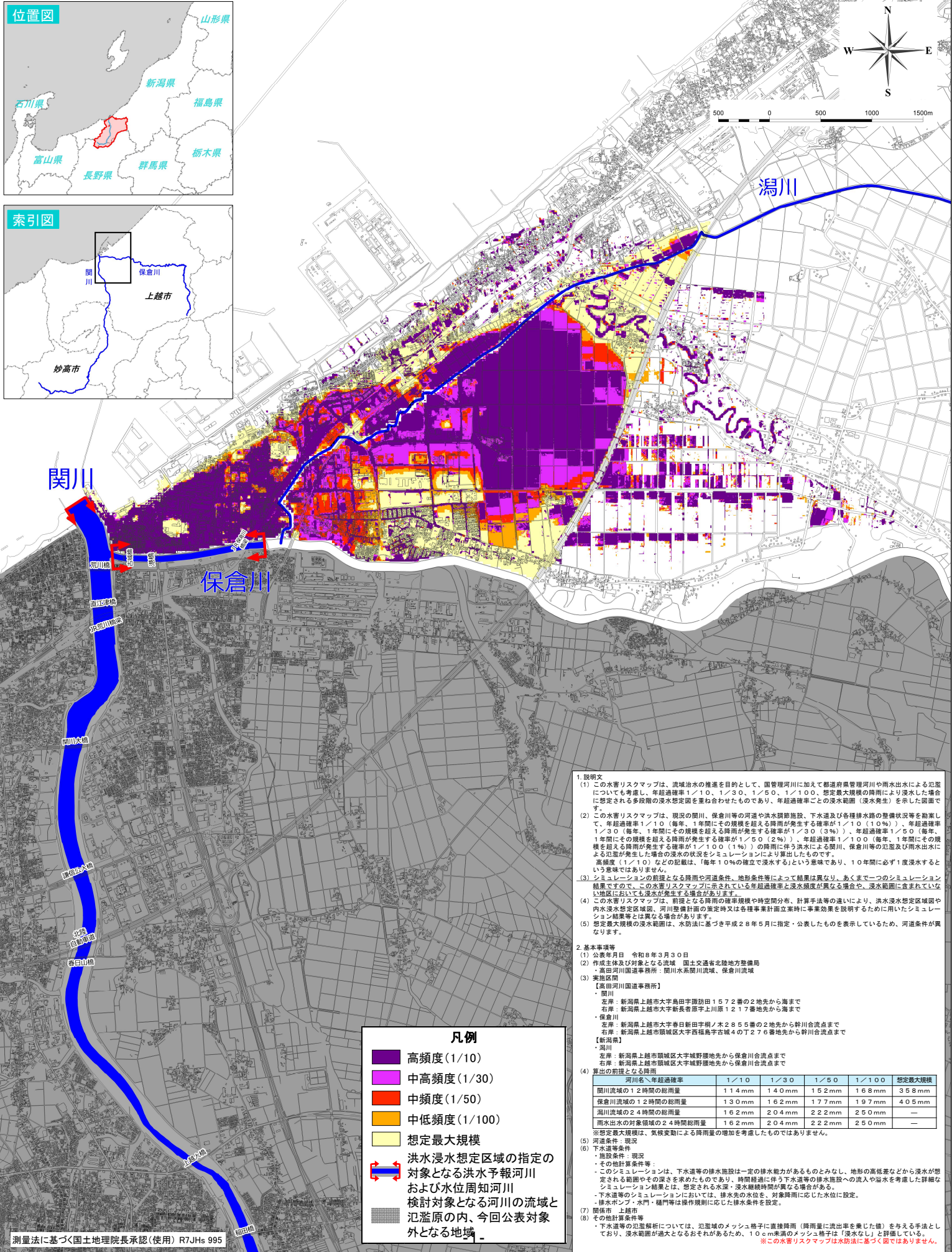
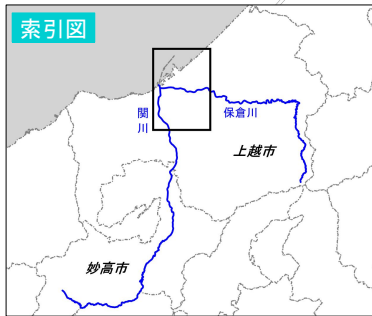
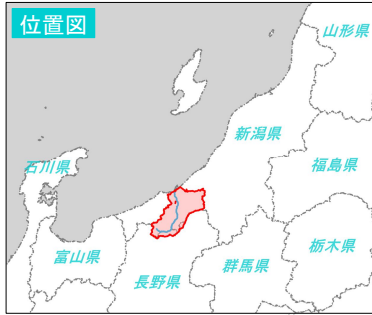


関川水系 内外水統合の水害リスクマップ 【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文

- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。
- この水害リスクマップは、現況の関川、保倉川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を踏まえて、年超過確率1/10（毎年1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による関川、保倉川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況を示すシミュレーションにより算出したものです。高頻度（1/10）などの記載は、「毎年10%の確立で浸水する」という意味であり、10年間に必ず1度浸水するという意味ではありません。
- シミュレーションの前段となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
- この水害リスクマップは、前掲となる降雨の確率規模や時空間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内水浸水想定区域図、河川整備計画の策定又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。
- 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

- 公表年月日 令和8年3月30日
- 作成主体及び対象となる流域 国土交通省北陸地方整備局
・高田河川国道事務所：関川水系関川流域、保倉川流域
- 実施区域
・関川河川国道事務所
・関川
左岸：新潟県上越市大字鳥田字諏訪田1572番の2地先から海まで
右岸：新潟県上越市大字新長者原上川原1217番地先から海まで
・保倉川
左岸：新潟県上越市大字春日新田字桐ノ木2855番の2地先から幹川合流点まで
右岸：新潟県上越市東城区大字西福島字古城4の276番地先から幹川合流点まで
【新潟県】
・濁川
左岸：新潟県上越市東城区大字城野原地先から保倉川合流点まで
右岸：新潟県上越市東城区大字城野原地先から保倉川合流点まで
- 算出の前段となる降雨

河川名\年超過確率	1/10	1/30	1/50	1/100	想定最大規模
関川流域の12時間の総雨量	114mm	140mm	152mm	168mm	358mm
保倉川流域の12時間の総雨量	130mm	162mm	177mm	197mm	405mm
濁川流域の24時間の総雨量	162mm	204mm	222mm	250mm	—
雨水出水の対象領域の24時間の総雨量	162mm	204mm	222mm	250mm	—

※想定最大規模は、気候変動による降雨量の増加を考慮したものではありません。

(5) 河道条件：現況

(6) 下水道等条件
・施設条件：現況
・その他計算条件等：
このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。

(7) 雨水等のシミュレーションにおいて、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
・排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

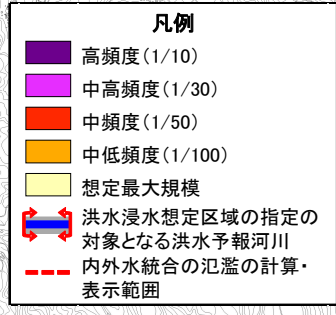
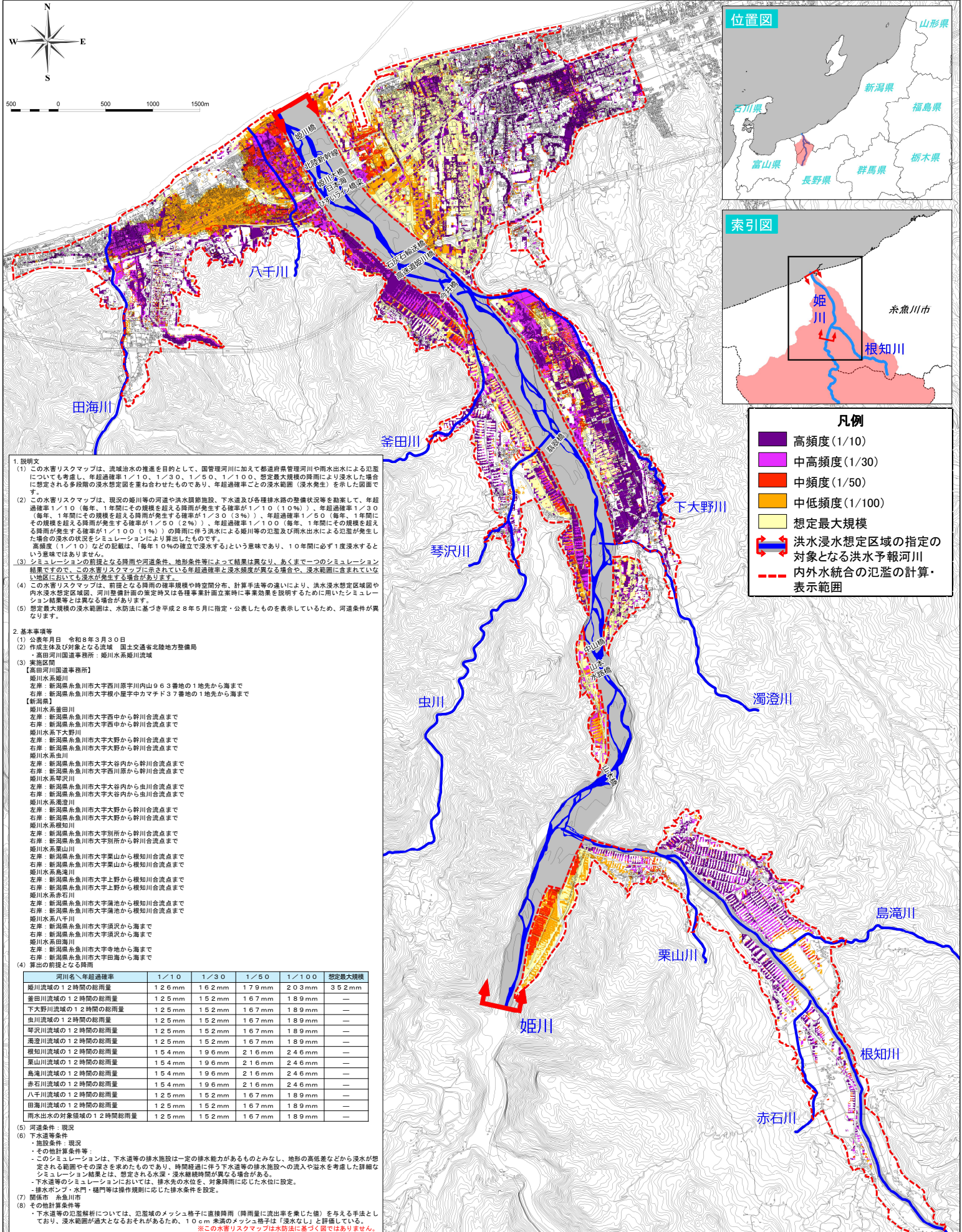
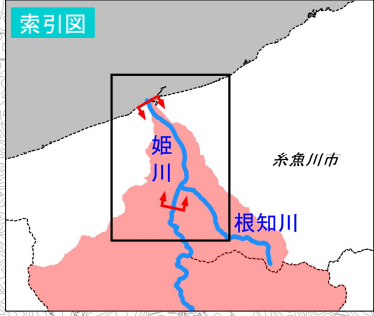
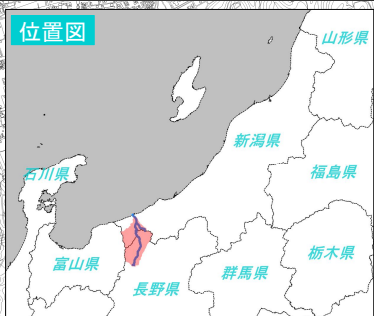
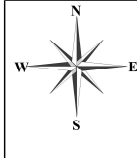
(8) その他計算条件等
・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量）に流出率を乗じた値を考慮する手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、**※この水害リスクマップは水防法に基づいたものではありません。**

凡例

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 想定最大規模
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川
- 検討対象となる河川の流域と氾濫原の内、今回公表対象外となる地域

姫川水系 内外水統合の水害リスクマップ【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文

- この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、想定最大規模の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。
- この水害リスクマップは、現況の姫川等の河道や洪水調節施設、下水道及び各種排水路の整備状況等を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/10（10%）、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/30（3%）、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/50（2%）、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水による姫川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものであり、高頻度（1/10）などの記載は、「毎年10%の確立で浸水する」という意味であり、10年間に必ず1度浸水するという意味ではありません。
- シミュレーションの前提となる降雨や河道条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。
- この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時間分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域や内外水浸水想定区域、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項

- 公表年月日 令和8年3月30日
- 作成主体及び対象となる流域 国土交通省北陸地方整備局
 - 高田河川国道事務所：姫川水系姫川流域
- 実施区域
 - 【高田河川国道事務所】
 - 姫川水系姫川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字西川原山内山963番地の1地先から海まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字根小屋中力カマド37番地の1地先から海まで
 - 【新潟県】
 - 姫川水系釜田川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字西中から幹川合流点まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字西中から幹川合流点まで
 - 姫川水系下大野川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字大野から幹川合流点まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字大野から幹川合流点まで
 - 姫川水系虫川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字大谷内から幹川合流点まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字西川原から幹川合流点まで
 - 姫川水系琴沢川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字大谷内から虫川合流点まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字大谷内から虫川合流点まで
 - 姫川水系濁澁川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字大野から幹川合流点まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字大野から幹川合流点まで
 - 姫川水系根知川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字別所から幹川合流点まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字別所から幹川合流点まで
 - 姫川水系栗山川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字栗山から根知川合流点まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字栗山から根知川合流点まで
 - 姫川水系島滝川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字上野から根知川合流点まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字上野から根知川合流点まで
 - 姫川水系赤石川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字瀧池から根知川合流点まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字瀧池から根知川合流点まで
 - 姫川水系八千川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字湊沢から海まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字湊沢から海まで
 - 姫川水系田海川
 - 左岸：新潟県糸魚川市大字寺地から海まで
 - 右岸：新潟県糸魚川市大字田海から海まで

4. 算出の前提となる降雨

河川名\年超過確率	1/10	1/30	1/50	1/100	想定最大規模
姫川流域の12時間の総雨量	12.6mm	16.2mm	17.9mm	20.3mm	35.2mm
釜田川流域の12時間の総雨量	12.5mm	15.2mm	16.7mm	18.9mm	—
下大野川流域の12時間の総雨量	12.5mm	15.2mm	16.7mm	18.9mm	—
虫川流域の12時間の総雨量	12.5mm	15.2mm	16.7mm	18.9mm	—
琴沢川流域の12時間の総雨量	12.5mm	15.2mm	16.7mm	18.9mm	—
濁澁川流域の12時間の総雨量	12.5mm	15.2mm	16.7mm	18.9mm	—
根知川流域の12時間の総雨量	15.4mm	19.6mm	21.6mm	24.6mm	—
栗山川流域の12時間の総雨量	15.4mm	19.6mm	21.6mm	24.6mm	—
島滝川流域の12時間の総雨量	15.4mm	19.6mm	21.6mm	24.6mm	—
赤石川流域の12時間の総雨量	15.4mm	19.6mm	21.6mm	24.6mm	—
八千川流域の12時間の総雨量	12.5mm	15.2mm	16.7mm	18.9mm	—
田海川流域の12時間の総雨量	12.5mm	15.2mm	16.7mm	18.9mm	—
雨水出水の対象領域の12時間総雨量	12.5mm	15.2mm	16.7mm	18.9mm	—

(5) 河道条件：現況

(6) 下水道等条件

- 施設条件：現況
- その他計算条件等：
 - このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
 - 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

(7) 関係市 糸魚川市

(8) その他計算条件等

- 下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となるおそれがあるため、10cm未満のメッシュ格子は「浸む」として処理している。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。